

こんにちは
日本共産党です

『子どもの貧困』

貧困解決に、社会的な協力必要

日本共産党流山市議団
高野 とも 7155-1683
いぬい紳一郎 7159-2773
小田桐たかし 7154-0878
徳増 きよ子 7148-6870
市議団事務所
TEL/FAX 7157-6140

小中学校における
定期健診結果の治癒率(%)

年度	小学校	中学校
H16	52.3	31.8
H17	55.1	27.5
H18	57.9	29.6
H19	58.3	34.1
H20	58.7	32.5

DVを理由に母子家庭となった家庭で、学校の歯科及び耳鼻科の定期健診の結果、要治療・要検査を指摘されながら経済的理由で受

個人・家庭・学校任せにするな

中学校健診 治癒率 3割台

診できないとの相談が日本共産党に寄せられました。

閉会した6月議会。日本共産党は、『子どもの貧困』問題等を取り上げ、教育環境改善の取り組みを求めました。

その後の調査で、小中学校の検診結果の治癒率(治療済み児童生徒数/精密検査及び要治療と診断された児童生徒数)はH20年度平均49・6%、中学校ではこの5年間で、3人に1人しか治療してないことが分かりました。

S62年来初めて3割台を切り、経済的な影響が子どもの進学にも影響を及ぼしています。日本共産党は「勉強に部活、習い事と忙しい実態は考慮しても、子どもの健康上、対策を打つべきだ。まして

や経済的理由による受診抑制が市内で発生しており、『子どもの貧困』を防ぐ対策を」と求めました。

鈴木教育長は、「今は、衣食住に事欠かない、進学をあきらめられない」としていましたが、実態を突きつけられ、「貧困が子どもの成長を妨げとなつてはならない」としました。また「各家庭や学校任せとせず、子どもの貧困は必ず解決する強い姿勢を教育長が持つてほしい」との指摘には、「同感だ」と答弁しました。



夏季の『蒸し風呂』教室の改善を

地球温暖化が進む中、

夏季の教室内は、まさに『蒸し風呂』状況です。子どもも先生も改善を求める声が高まり、

文部科学省も『学校環境衛生基準』で「夏季の望ましい教室内温度は25℃28℃と基準まで発表しています。

せめて、扇風機の全校配置を

ところが、流山市教育委員会では、日本共産党のエアコン設置の提案に、「ガマンも教育」「地球温暖化への負荷軽減」とし、全く具体的な対策を取ってきませんでした。一方、各学校では自

小中学校普通教室への
扇風機設置状況

	設置校数	設置台数
小学校	5校	92台
中学校	4校	63台
合計	9校	155台

主防衛策を取り、小学校5校、中学校4校で普通教室に扇風機を設置。財源措置も不十分のため、PTA会費から拠出する学校も出ています。



日本共産党は、教育の機会均等の立場や、市教委はエアコンにより28度で仕事をしていることを示し、エアコン設置が根本解決であること、せめて扇風機なら2台以上を予算化するよう迫りました。学校教育部長は、「学校配当予算で別途予算措置し、対応したい」と答弁。改善に向け、一歩前進しました。引き続き、教育の環境改善へ、力を合わせましょう。